

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1070-2	(H.24)No.	1070-2
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	医療体制推進費(病院群輪番制病院運営事業負担金関係)		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	地域医療体制担当/地域医療室	岩名静枝/富岡憲子	

会計区分	事業コード	250505
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	保健衛生総務費	病院群輪番制病院運営事業負担金

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	伊賀地域内において、二次救急患者の受入れ体制を確保することにより、地域で安心できる医療体制の整備を図る。
事業内容	伊賀地域の二次救急医療に対応するため、名張市立病院・上野総合市民病院、岡波総合病院が救急輪番体制を整備するにあたり、必要な運営経費の補助を行う。加えて、岡波総合病院に対しては、民間病院救急医療体制整備にかかる補助を行う。 なお、補助金の交付事務局を平成23～25年度まで伊賀市が担当し、同市で補助した経費を人口割合に応じ、名張市において負担する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	総事業費 25,479千円 病院群輪番制病院運営事業 (@63,000円×485コマ)×(82,196人/180,887人)=13,884,352円 民間病院救急医療体制整備事業 11,594,150円 (単独実施@189,000円×108コマ)×(82,196人/180,887人)=9,275,320円 (2病院実施@94,500円×54コマ)×(82,196人/180,887人)=2,318,830円	総事業費 25,781千円 病院群輪番制病院運営事業 (@63,000円×486コマ)×(82,300人/180,700人)=13,944,999円 民間病院救急医療体制整備事業 11,836,033円 (単独実施@189,000円×111コマ)×(82,300人/180,700人)=9,554,907円 (2病院実施@94,500円×53コマ)×(82,300人/180,700人)=2,281,126円	平成25年度と同様に実施予定(H26～28は名張市が事務局)	平成25年度と同様に実施予定(H26～28は名張市が事務局)	平成25年度と同様に実施予定(H26～28は名張市が事務局)

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	25,479千円	25,781千円	25,781千円	25,781千円	25,781千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 25,479	25,781	25,781	25,781	25,781
人員数					
職員	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
概算人件費	(0千円) 770千円	770千円	770千円	770千円	770千円
+ 総事業費	(0千円) 26,249千円	26,551千円	26,551千円	26,551千円	26,551千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
寄附講座等により、名張市立病院の 師は増員となり、 次救急医療の受入体制は改善されてきたが、伊賀地域全体の二次救急医療医療体制を構築するためには、3病院の連携強化が必要であるため、定期的に三病院長会議を開催している。3病院の医療資源を効率・効果的に活用する取り組みを進めることが課題である。	寄附講座等により、名張市立病院の常勤医師は増加してきたが、3病院だけで伊賀地域全体の二次救急医療を完結できるまでには至っていないため、引き続き医師確保に努めるとともに、県内、県外の医療機関との連携、サポート体制も継続して強化する。また、3病院長会議を継続し、連携を深め、伊賀地域全体の二次救急医療体制について引き続き協議していく。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	名張市立病院を核として、上野総合市民病院、岡波総合病院との機能分担、連携を強化し、市民が安心できる救急医療体制の構築に貢献できた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	地域住民の安心・安全な生活の確保を図っている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
市民が安心して生活するためには、伊賀地域の3病院が連携して二次救急医療体制を構築することが必要であるため、現行どおり継続する。	